

武蔵野音楽大学における生成系AIの対応について

2025年7月21日

武蔵野音楽大学

昨今、ChatGPT等に代表される高度な生成系AIの急速な発展を目の当たりにしています。教育分野においても、生成系AIを適切に活用することで、学修効果が上がり、また、教職員の業務効率化を図ることができるなどの効果が期待される反面、レポート等の作成に生成系AIのみが使われること等に対する懸念が指摘されています。こうした背景も踏まえ、生成系AIを使用する際は、以下の点に留意してください。

- 1 生成系AIは、あくまでも補助的な目的で活用すべきであり、論文レポート、作品、プレゼンテーション資料等を、生成系AIのみで作成することは禁止します。
- 2 生成系AIからの出力結果に著作物の内容がそのまま含まれた場合、これに気付かず当該出力をレポート等に用いると、意図せずとも剽窃にあたる可能性がありますので注意してください。
- 3 生成系AIへの入力を通じ、機密情報やプライバシーが意図せず流出・漏えいする可能性等があります。一般的なセキュリティ上の留意点として、機密情報や個人情報を入力することは避けてください。

今後、文部科学省のガイドライン変更等に合わせて本通知は見直される可能性があります。